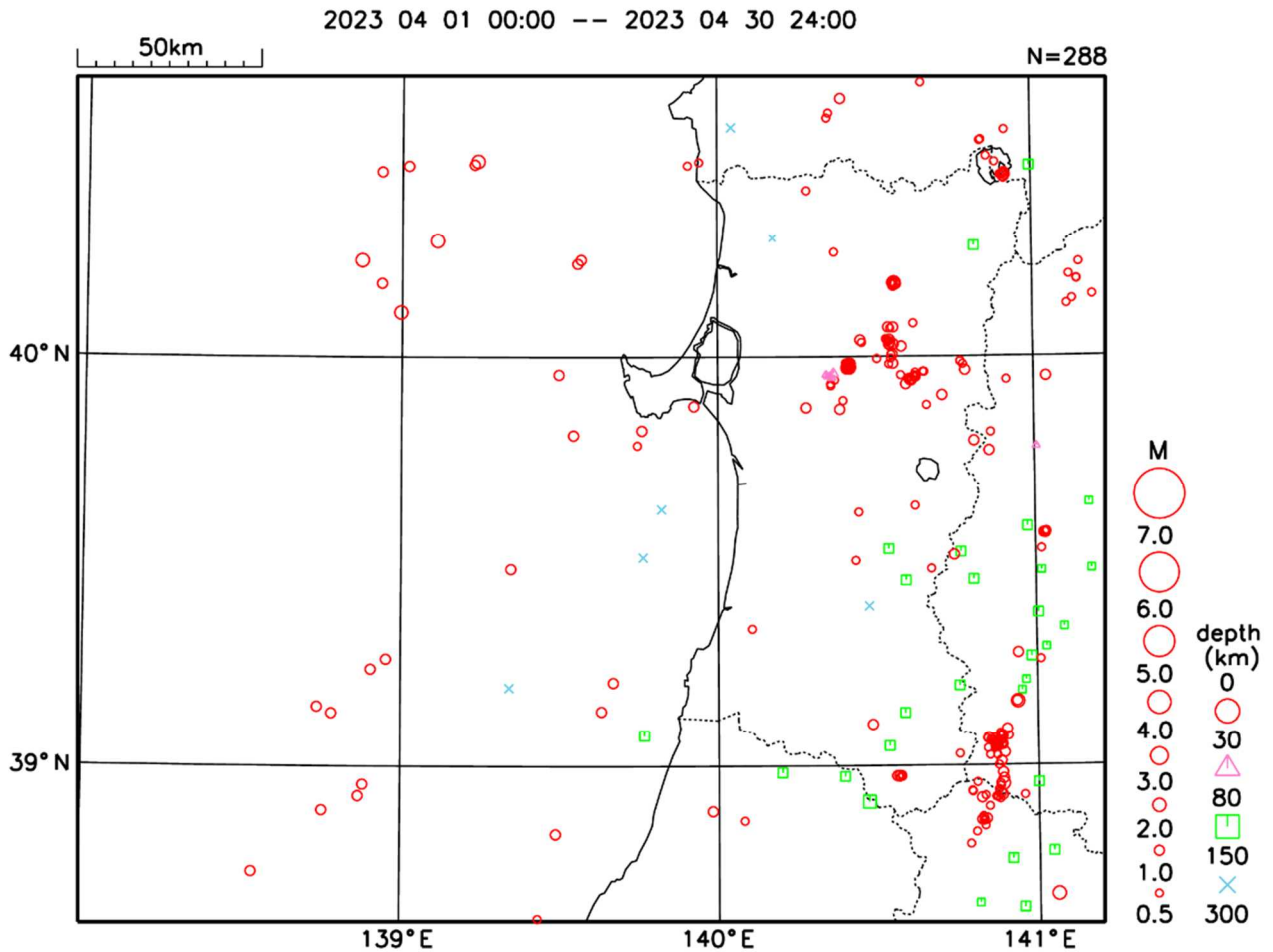


# 秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2023年4月

## 【震央分布図】

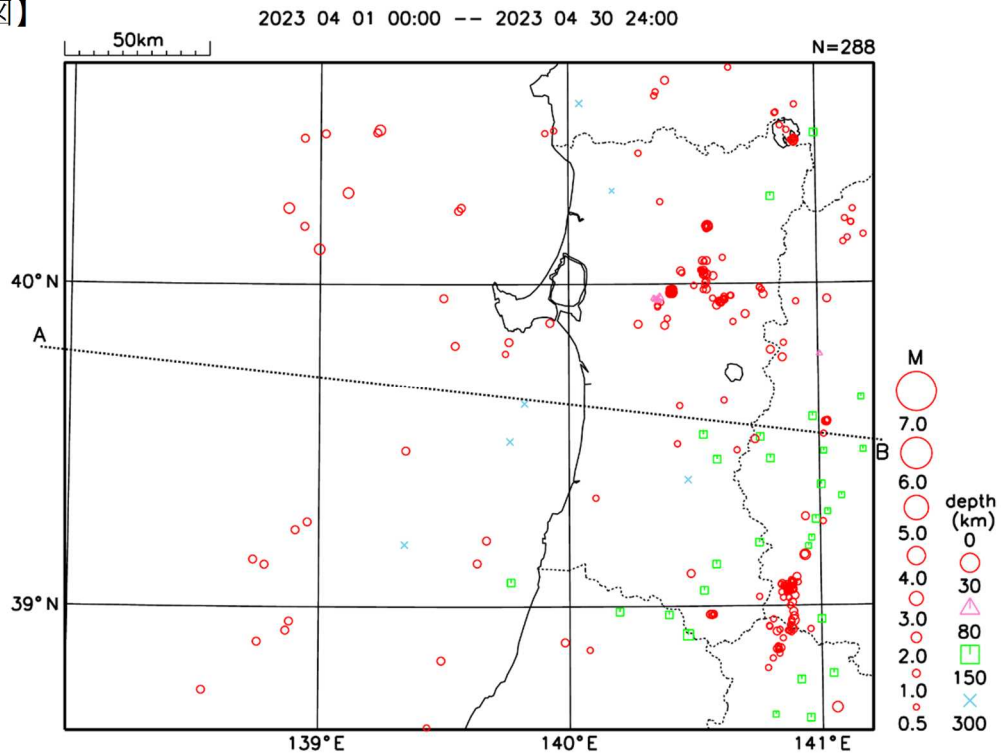


### 〈4月の地震概況〉

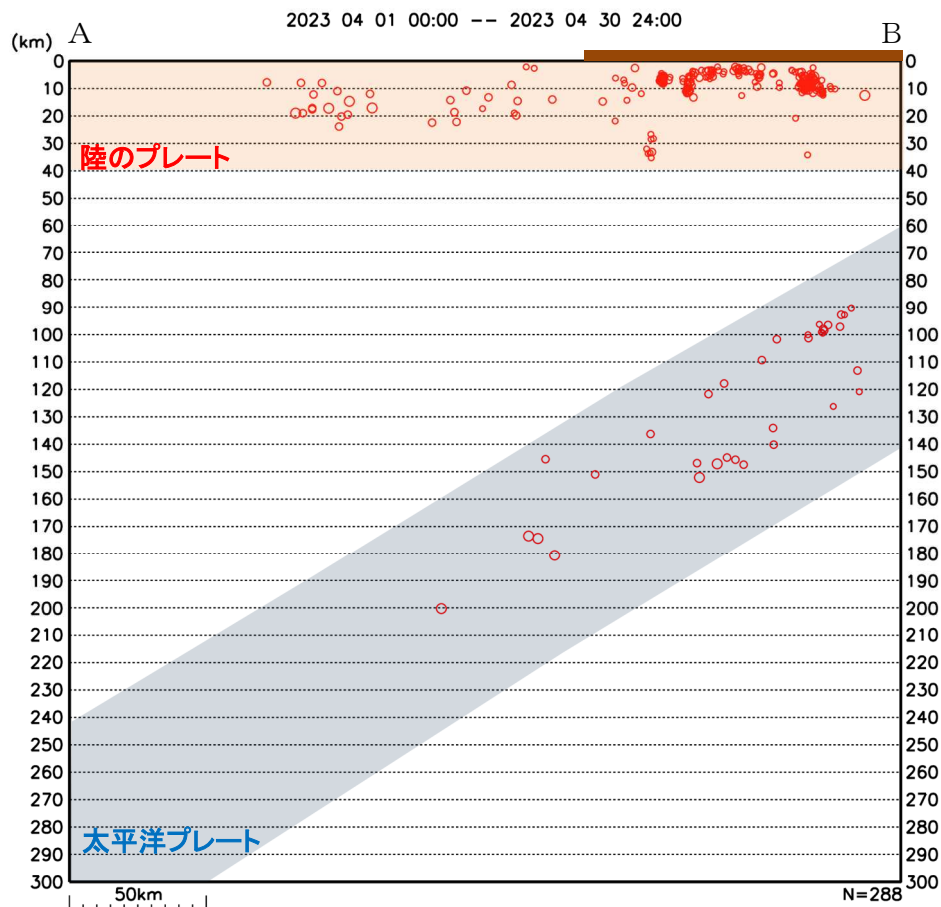
この期間、秋田県とその周辺を震源とする地震は288回発生した。県内で震度1以上を観測した地震は1回（3月：6回）で、図の範囲外を震源とする地震であった。

1日18時41分に新潟県下越沖の深さ28kmでM4.9の地震が発生し、山形県と新潟県で震度3を観測したほか、東北地方、北陸地方、関東地方の一部で震度2～1を観測した。県内では、にかほ市と由利本荘市で震度1を観測した。この地震は地殻内で発生した。この地震の震源付近では1964年に「新潟地震」(M7.5)が発生している。

【震央分布図】



【断面図】 (震央分布図内の直線A-Bを断面として投影した震源の深さの分布)



- ※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
- ※ —— は陸地の大まかな位置を示している。
- ※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。  
 なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

## 秋田県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2023年 4 月 1 日～2023年 4 月30日

発 震 時	震 央 地 名	北 緯	東 経	深 さ	規 模
各地の震度					
2023年04月01日18時41分	新潟県下越沖	38° 18.0' N	138° 51.2' E	28km	M4.9
2023年04月01日18時41分	新潟県下越沖	38° 18.3' N	138° 50.6' E	27km	M4.9
秋田県	震度 1：由利本荘市矢島町矢島町*	にかほ市平沢*	にかほ市象潟町浜ノ田*		

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。

複数の震源要素を併記しているものは、ほぼ同時刻に発生した地震のため震度の分離ができないことを示す。

各地の震度は秋田県のみを示し、\*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

# 5月26日は「県民防災の日」です

防災メモ

～「昭和 58 年(1983 年)日本海中部地震」を決して忘れない～

今年の5月26日で「昭和 58 年(1983 年)日本海中部地震」の発生からちょうど 40 年になります。秋田県に甚大な被害をもたらしたこの災害を知ることは防災上大切なことです。

秋田県は日本海中部地震の記憶や教訓を風化させないために、5月26日を「県民防災の日」と定めています。

毎年5月26日の前後には県内各地で防災訓練が開催されます。最寄りの地域で行われる防災訓練に積極的に参加し、時間とともに風化してしまいがちな防災意識を再び高め、地震・津波から身を守るための行動や備えを再確認しましょう。

## 【日本海中部地震の概要】

1983年(昭和58年)5月26日11時59分、秋田県沖でマグニチュード7.7の大地震が発生し、秋田市などで震度5を観測しました。地震発生から8分後の12時07分には青森県の深浦に、12時08分には秋田県の男鹿に津波の第1波が到達しました。津波は日本海沿岸を中心に観測され、気象庁の現地調査では、青森県から男鹿半島にかけて5～6m、北海道奥尻島では3～4m、佐渡、能登半島、隠岐では2～3mに達しました。

この地震・津波により、県内では死者83名、負傷者265名、住家全半壊3,764棟など大きな被害が発生しました。



漁船被害〔能代港〕

被害の特徴として津波による被害が大きく、死者のうち79名は津波によるものでした(被害状況は、秋田県災害年表による)。

## 【秋田地方気象台HPリニューアル】

秋田地方気象台では、日本海中部地震から40年の節目にあわせて、日本海中部地震のホームページをリニューアルしました。地震・津波被害の特徴などの記載を追加し、被害状況の写真や動画等も新たに掲載しています。

過去の災害を振り返り、地震・津波への備えを改めて確認していただくために、ご活用ください。

秋田地方気象台 日本海中部地震 [https://www.data.jma.go.jp/akita/data/saigai/saigai\\_tyubu.html](https://www.data.jma.go.jp/akita/data/saigai/saigai_tyubu.html)

### 地震から身を守るために・・・あわてず、まず身の安全を確保する！

- ・ 地震発生直後は、頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する
- ・ あわてて外に飛び出さない
- ・ 揺れている最中にあわてて火を消そうとせず、揺れが落ち着いてから火の始末をする
- ・ 自動販売機やブロック塀の倒壊、看板や割れた窓ガラスの落下に注意する
- ・ 日頃から家具等の転倒・移動防止、ガラスの飛散防止対策をする

### 津波から身を守るために・・・海辺から離れ、より高い安全な場所を目指して避難する！

- ・ 海岸で強い揺れを感じた時、または弱い揺れでも長い時間揺れを感じた時は、大津波警報、津波警報等の発表を待たずにすぐ避難する
- ・ 揺れを感じなくても、大津波警報、津波警報等を見聞きした時は、すぐに避難する
- ・ 避難は、「より遠くへ」よりも「より高い場所」を目指して逃げる
- ・ 津波は、川を遡ってくるので川からも離れる
- ・ 津波は繰り返し襲ってくるので、大津波警報、津波警報等が解除されるまで海岸や川に近づかない

地震・津波の防災リーフレットや、津波防災啓発ビデオは以下のURL(気象庁HP)から入手できます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/eq/index.html>